

けやき会報

兵庫県立大学 同窓会

第15号

平成23年10月27日 発行

〒673-8588 兵庫県明石市北王子町13-71
TEL 078-925-0860 FAX 078-925-0878

デザイン・印刷 株式会社 サラト
〒670-0948 兵庫県姫路市北条宮の町172
tel 079-284-1380 <http://www.salat.co.jp/>

けやき会とは：兵庫県立看護大学卒業生・兵庫県立看護大学大学院修了生、兵庫県立大学看護学部卒業生・兵庫県立大学大学院看護学研究科修了生、在学生、特別会員(旧現教員)を会員とし構成されている同窓会です。

けやき会HPリニューアルオープンお知らせ けやき会HPをリニューアルオープンしています。

URL:<http://www.keyaki-kai.com/> E-mail:info2@keyaki-kai.com

内容の充実、管理情報の一元化とセキュリティの強化、電子媒体の利用によるコスト削減などを目的に、名簿管理や会報発行でお世話になっている株式会社サラトにHP開設を委託しました。コンテンツも充実しておりますので、ぜひご覧下さい。



ごあいさつ

けやき会 会長 芝田 健輔

暑い夏が終わり、虫たちの鳴き声と月明かりに秋のすがすがしさを感ずるこの頃。

会員の皆様、いかがお過ごしでしょうか。今年の夏は例年に増して猛暑が続いたうえ、エアコンを控え扇風機を使用するなど節電対策に取り組んだ結果、より暑い夏に感じた方も多いのではないでしょうか。

さて、今年も5月にけやき祭りが開催されました。久しぶりに大学に行きましたが、懐かしいキャンパスで、学生、先生方、地域の方々、卒業生、など様々な人と出会うことができました。キャンパス内では、お店、催し物、イベント、ライブなどが開催されにぎやかな一日になりました。

けやき会主催の講演会を紹介させていただくと「心身の疲れを癒すリラクゼーション」と題し、近澤先生、三宅先生、谷田先生に実技を交えての講演をしていただきました。リラクゼーションとは何かということから、アロマを使ったマッサージ、呼吸法をもちいたリラクゼーションなど、参加された皆さんとゆったりと落ち着いた時間を過ごすことができました。

そして、今回の会報では、「卒業生の今」を特集しています。卒業したあの人は、今何をしているのだろうか…。了承をえた卒業生の方に今の生活についてメッセージをいただいているので紹介させていただきます。以前にも会報で先輩のメッセージをいただきましたが、様々な分野で活躍されている先輩たちのメッセージにさまざまなワークライフバランスがあることを教えていただきました。少し自分の話になりますが、私は兵庫県立看護大学の11期生で卒業しました。卒業して5年が経過し、一緒に卒業した同級生は今、どんな生活を送っているのだろうかと思うことが時々あります。親しい友人とは、出会うことや連絡を取り合うことがあります。ほとんどの同級生は正直分らないです。

最後に、少し先の話ですが、平成25年に同窓会名簿を発行することになりました。それに向け、名簿作成に関する案内を郵送させていただきますのでご協力をよろしくお願いいたします。卒業生の名前に加え、記載の了承をいただいた住所、所在などを記載させていただく予定です。この機会に本棚にしまわれている卒業アルバムを開き、卒業生同窓会名簿と共に活用してもらおうことで、卒業生の輪が広がっていけばよいと期待しています。

けやき会主催セミナー

5月22日(日) 技の伝承ーリラクゼーションに焦点をあててー

3人の先生方に講師をお願いし、リラクゼーションの講義や実演が行われました。

谷田恵子先生

「アロマテラピーに関するリラクゼーション」



三宅一代先生

「マッサージに関するリラクゼーション」



近澤範子先生

「呼吸に関するリラクゼーション」

今年の櫂祭りでは実習室で車イス体験コーナー、1階吹き抜けで海外作品展示・販売コーナー、講堂では和太鼓の演奏がありました。

櫛まつりを終えての感想

2年生 泉村 萌子

今年の櫛まつりも5月第4週目の日曜、22日に無事開催されました。当日は残念ながら雨降りの天気でしたが、校舎内での出展に今年も300名程度の参加者の方にお越しいただき、地域の方々との交流が深められたように思います。



今年は、例年よりも少ない30名程度の運営体制で、春休み終盤から少しずつ計画を練り始めるところからスタートしました。今年の出展内容は、毎年恒例の「足浴」、血圧測定・車椅子などを実際に出来る「体験コーナー」、フェアトレード商品の販売をする「ニッツカフェ」、模擬店、先生方の出展である「sound of healing」、地域ケア研究所での「まちの保健室」、保健啓蒙をやさしい劇にした「ナースの学び舎」、軽音楽部の演奏などに加え、王子太鼓さんによる太鼓演奏のステージ、新しく出来たBLSを広めるサークルlife support teamによる「AED & 胸骨圧迫体験コーナー」、更に今年は東日本大震災の発生を受けて「災害ブース」という展示コーナーを設け、市民の方々に放射線の正しい知識や、震災時の対応の仕方、また傷の手当

での方法などを実演する機会を設けました。

学生が自分たちで内容を企画、計画して、普段お世話になっている地域の方々に少しでも自分たちの学びを還元することが出来ることは、私自身非常に価値のあることだと思っています。しかし先にも述べたように、今年は例年よりも運営メンバーが少なく、多くの企画を同じメンバーが運営したり責任者となっていたものもあり、一人に大きな負担がかかってしまっている部分もありました。そのような奉仕精神だけにならないように、企画している私たちも同時に楽しんで有意義な学びにつながるよ



うな、そんなまつりに出来たらと考えています。そのためには、もっとたくさんの学生を巻き込み、一人一人がそれぞれの価値を見出して学ぶこと、そしてさらには学びを仲間と楽しめるという機会にすることが必要です。これからは、広報活動を積極的に行い、みんなを巻き込んだイベントに出来たらと思っています。



とはいえ、これら全てのことは私たち学生だけの力では到底なし得ることは出来ません。企画の段階からずっとアドバイスを下さり支えて下さった先生方、学務課の方々、また私たちを取り巻く全ての関係者の方々に、この場を借りてお礼を申し上げます。先輩方が作り上げてきた伝統の櫛まつりを、また新しい形でこれから、発展させることが出来たらと思っています。これからもぜひお時間が合えばご参加いただければと思っています。どうぞよろしく願いいたします。

卒業生の会

大学院なう

兵庫県立大学大学院修士1回生（精神看護学専攻・CNSコース） 浅原 佳紀（2期生）



皆さんこんにちは。2期生の浅原佳紀と申します。

私は今、大学院にいます。精神看護CNSを目指して日々精進しています。学部生の際には、まさか自分が大学院に進学するなんて思いもしませんでしたけど、人生何が起きるか分からないということなのでしょう。

学部を卒業後は、何ヶ所か病院を転々とした後、地元岡山の精神科病院に勤務していました。その病院で10年近く働いていて、このままこの病院で一生働き続けるのだろうな、と思っていました。しかし日々の看護にどことなく自信のなさを感じながらくずぶつしている所に、たまたまCNSの方が転職されてきたこともあり、「このタイミングを逃してはいけない！」と一念発起して、35歳にして大学院進学を決めました。仕事のこと、金銭的なこと、いろんな面で周りの人間を振り回してしまいましたが、多くの人のサポートがあって今こうやって大学院生活を送ることができていることは、とても幸せなことだと思っています。大学院の素敵な人たちの中で、充実した毎日を過ごすことができているので、机上の勉強からはかなり遠ざかっていましたし、通学のために大学近くで一人暮らしをしているので、そんな中での勉強は決して楽ではありません。しかしこれだけ勉強に集中できるのは恐らく一生のうちで今だけでしょうし、CNSになって1人でも多くの精神疾患の方の役に立ちたいという目標があるので、これからも老体に鞭打って頑張っていきたいと思っています。

けやき会の皆様こんにちは！

兵庫県立リハビリテーション中央病院 井川 愛子（7期生）



けやき会の皆様こんにちは！7期生の井川愛子です。急性期病院での3年を経て平成18年に兵庫県立リハビリテーション中央病院に入り、今年で早6年目になります。2年間、回復期病棟で働いた後、現在は平成20年度に新しく開設された小児病棟に勤務しています。

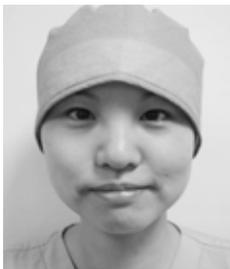
小児病棟は、小児整形外科と小児科（睡眠障害）の混合病棟で、小児整形外科では主に脳性麻痺や先天性疾患、骨・関節疾患を持った児の手術と、手術後のリハビリテーションを行っています。また、小児科（睡眠障害）では、睡眠リズムが崩れ、朝起きられない・学校に行くことができない・疲れやすい児に対し、睡眠リズムを整え社会復帰を目指して、高照度光療法や低温サウナ療法、薬物療法、心理カウンセリング等の治療を行っています。

私は、これまで一度も小児科での経験がなかったので、小児病棟への配属が決まった時はかなり不安もありましたが、それと共に、新しく開設される病棟ということで、他のスタッフと力を合わせて新しく一つの病棟を作り上げていくことに対する期待感や楽しみもありました。やはり、病棟がオープンした当初は、ハード面やソフト面、患児やその家族との関わりなど、様々なことが初めてで慣れないことだらけで、毎日が手探りの状態でしたが、一つ一つの問題にその都度スタッフ皆で向き合い、検討・勉強を重ね、ようやく自信の持てる、形ある病棟になってきました。

訪問学級や、学級以外での勉強・遊び、保育士との連携など、幼児期から思春期までの幅広い年齢層の子どもたちの日々の成長を支え、楽しく安全に入院生活を送ることができるよう関わっていますが、同時に、純粋で多感な子どもたちから教えられること、考えさせられることも本当にたくさんあります。また、そのご家族との関わりを通して、学ばされることも多く、将来自分子どもにはこうしよう、こう関わろう・・と思うことも多々あります。病棟スタッフも、楽しく面白く向上心の強いメンバーばかりで、今後の小児病棟の発展が楽しみです。

築地市場前なう

国立がんセンター中央病院 前田 智子 (8期生)



兵庫県立看護大学を卒業し、東京にある国立がんセンター中央病院に就職して7年半が経とうとしています。当初は3年で兵庫に帰る予定だったので、まさか8年も東京にいるとは卒業したての私には予想だにしていなかったことでしょうか。卒業論文のゼミで加治秀介先生と一緒に白衣を着て、毎日実験室でPCRと睨めっこしていた頃が懐かしいです。

就職してずっと手術室に勤務しています。はじめの3年間は人生でつらい時期でした。手術器械を覚えられない、手順は覚えられない、同じミスを繰り返す、毎日怒られ泣く…私はいわゆる「仕事ができない新人」でした。だから3年間では兵庫に帰れなかったのです。よく上司から「看護師に向いてない」と諭されていました。性格上、図太いので辞めませんでした。そんな私でもさすがに仕事を覚え、4年目になり手術以外の仕事も任せられるようになり、5年目でチームリーダー、6年目で初めてプリセプターをさせていただきました。同期3人との明確な仕事の差はありましたが、その3人がいつも精神的に支えてくれました。同期の1人に兵看大同8期生の松谷尚子さんもいて心強かったです。余談ですが、就職当初は2人も関西弁しか話せなく、それだけで先輩方の厳しい指導の対象となったものです。術野で使用するガーゼを数えるときに「いち、にい、さーん、し…」と関西圏独特の数え方をして、「仕事もできないのに、歌う余裕があるなんて」と言われました。笑話のようで本当の話です。現在は新人や後輩の指導者として教育的な役割をさせていただいています。

まあ、そんな背景があるので看護師として目覚めるのは私の場合遅く、手術室の看護について考え始めたのは4年目以降となります。それまでは仕事ができるようになるために頑張る一方、「果たして自分は看護師なんだろうか？何のためにやってるんだろうか」と疑問に思っていました。患者さんと話す機会もあまりなければ、「ありがとう」という感謝もない。「手術室看護師」というより「手術室技師」のような感覚。悶々と悩みました。そんな時、目の前で術直後の患者さんが急変し亡くなるということがありました。看護師5年目で初めての経験で、かなりショックを受けました。患者さんはがんの根治のために手術を受けたのに、どうして手術で亡くならなければいけなかったのか。この時、気付いたことがあります。患者さんが安全に安楽に何事もなく周手術期をむかえられることが手術室の看護師として最大の目標だということ。当たり前といえば当たり前ですが、当時は思いつきもしませんでした。たまに外科医の下ネタに付き合う、1週間前から患者さんに合った手術器具の準備をする、手術の進行を止めてでもガーゼ器械カウントを徹底する、「患者さんにとったらこれは痛い」と麻酔科医とケンカしてでも安楽な体位を確保する等、それら全てが患者さんにとって何事もなく手術を受けられるための必要不可欠なことであり、意味があると実感できるようになりました。7年目になるとその気付きを文章化して、後輩に私なりの手術室看護を語るようになりました。特に新卒で手術室勤務になったスタッフは私と同じような悩みに陥ることが多いです。手術室勤務の楽しさやりがいを感じてもらうためにも、伝えていきたいと思っています。

自分でも看護を語れるようになったんだと驚いています。物事を客観的に捉え、どんな意味や看護があるのかを分析し、表現できる力は大学で培ったと思います。大学1年の最初の授業は今でも覚えています。南裕子先生の「概念とは」という授業でした。とても難しい授業でしたが、冒頭で南先生が「この授業を理解できないと大学に4年間いる価値はない」とおっしゃったので、必死こいて聴きました。概念化は対象を理解し、説明する上で必要な能力で、どんな業務においても思考の基盤となるものです。ちょっと仕事に飽きて業務を淡々とこなしながらな時は、その授業を思い出して「考える」ことをやめないようにして気を引き締めています。

東京に居続ける理由の一つに「東京が楽しいから」があります。職場も住居も築地という銀座のすぐ近くの都心にあります。東京の観光スポット数は関西の観光スポット数の比ではありません。私はショッピングしないのですが、美術館や博物館が好きで週末はどこかしらに遊びに行ってます。またスポーツジムの格闘技のレッスンにはまり、脂肪だけでなく筋肉も付きました。手術室勤務のため旅行の計画も立て易く、今年は休暇でドイツ一人旅に行ってきました。ただ楽しいばかりではありません。3月に東北大震災を経験しました。正直「え、マジで。また？」と阪神大震災を思い出しました。未だに余震が続き、放射能もあび続けています。

今後はどんな看護師になるのか検討中です。現在の手術室に不満があるわけでもなく、スタッフの中では勤続最年長になり居心地はいいのですが、ただその温床がキャリアアップの妨げになっていることも事実です。手術室認定看護師も頭の中で震えますが、もう1年働きながら考えようと思います。

私は今

兵庫県立龍野北高等学校 高 曾 香 織 (旧姓：中嶋、10期生)



私は今、育休2年目、1歳の娘の育児に奮闘中です。今回、養護教諭である私に、会報に近況等書いてくれないか、と、声がかかったのですが、私は養護教諭の経験が2年も満たず、現在も仕事から1年以上離れているため、養護教諭についてほとんど何も言えていません。すみません。私は大学卒業後、病院で1年3ヶ月間看護師として、7ヶ月間健康福祉事務所で保健師として勤めました。そして平成20年4月から念願の養護教諭として県立高校に勤めています。看護師、保健師と短期間ですが経験した私は、先輩がいて当たり前前の環境だったためひとりぼっちさに最初はとても戸惑いました。でも、向き合う生徒は学校職員みな同じ。少しずつ連携の取り方含め仕事内容にも慣れてきたかな、というときに、産休に入り、現在に至っています。

実は私は卒業後5年間で、転職2回以外にも、父の突然の死、結婚、妊娠、出産、母の病死、めまぐるしく様々な感情と出来事を経験しました。でも、この機会にめまぐるしい5年間を振り返ることができ、今思うことは、「後悔ない」ということです。これからも、振り返った時、後悔がないように精一杯生きていきたいです。

そして、只今、今まで見ないふりをしてきた産後のたるんだお腹をやっつけるべくカーヴィーダンスに励んでいます！後悔しないよう頑張ります（笑）

慢性病看護事例研究会のおしらせ

成人看護学教室では慢性病を持つ患者さんやご家族への看護支援について事例を通して看護を考えるための研究会を開催しております。日々の実践の中で困難に感じていること、新たに挑戦したいと考えていることなど事例を通して振り返り、慢性看護について一緒に考えてみませんか？皆様の参加をお待ちしております。

日 程：平成23年11月17日（木）・平成24年2月16日（木）

時 間：19時から21時

場 所：兵庫県立大学明石キャンパス

連絡担当：成人看護学 米澤珠子

Fax：078-925-9444

E-mail：tamako_yonezawa@cnas.u-hyogo.ac.jp

母性看護事例検討会

母性看護学領域では、1997年10月より本学実習病院の看護職や卒業生・修了生と共に、毎月1回の事例検討会を行っています。卒業生・修了生の皆さまはどなたでも参加可能ですので、ぜひいらして下さい。ご参加頂ける際は、下記までご連絡下さい。

開催日時：基本的に8月を除く、毎月第2木曜日 18：00開場、18：30開始

開催場所：明石キャンパス地下1階大会議室

連絡先：母性看護事例検討会事務局（岩國）

【電話】078-925-9441 【メール】akiko_iwakuni@cnas.u-hyogo.ac.jp

最終講義のお知らせ
 鵜飼和浩教授

平成5年の兵庫県立看護大学開学以来、本学の教育にご尽力くださいました鵜飼和浩教授が、平成24年3月末日をもって定年退職されます。鵜飼先生による最終講義を下記の日程で開講致しますので、皆さん是非ご参加ください。また最終講義の後には茶話会を用意いたします。合わせてご参加ください。

日時：平成24年2月29日（水）
 【講義】15:00～16:00
 【茶話会】16:30～18:00
 場所：304教室

* 出欠のご連絡は不要ですので、直接会場にお越しください。
 * けやき会HP上でもご案内致します。ご確認ください。

お問い合わせ先：事務局 東知宏
 兵庫県立大学看護学部
 〒673-8588 明石市北王子町13-71
 電話：078-925-9434
 tomohiro_azuma@cnas.u-hyogo.ac.jp

けやき会会報
 小児看護学領域ホームページ
 開設のお知らせ



この度、兵庫県立大学小児看護学領域のホームページを新たに開設しました。

小児看護学領域では、こどもの主体性を大切に出来る社会の実現を目指し、教育・研究・社会貢献を柱に、様々な活動を行っています。

ホームページでは、小児看護学領域での活動報告やこどもを取り巻く最新の動向について、幅広く情報を発信しています。災害時に子どもと家族を支える災害看護についての情報発信や、地域の小児病棟や外来、在宅、療養施設で働く看護職が抱える困難な事例に対する症例検討会のご案内も行っています。

同窓会に関する情報についても随時アップしていく予定ですので、卒業生・修了生の方々におきましても、情報交換やネットワークづくりの場としてご活用下さい。

ホームページアドレス：<http://www.dosokai.ne.jp/u-hyogo.childhealthnursing/?menu=home>

会報発行協力金協賛者一覧

(平成23年9月7日 現在)

■平成23年

特別会員

鵜飼 山 治
 内 布 敦 子
 長 田 浩
 勝 原 裕美
 塩 塚 優子
 水 谷 信子
 山 本 あい子
 吉 本 祥 生

平9
 北山 (大塚) 奈央子

平10
 竹 原 歩
 西 山 喜代美
 蓬 菜 節 子

平11
 森田 (板橋) 京子
 元 木 絵 美

平12
 小 東 由樹子
 住岡 (西村) まどか

平13
 美 馬 由 紀

平14
 山本 (赤曾部) 一代
 前 山 直 子

平16
 伊 坪 恵
 尾 崎 祐 子
 牧野 (為則) あゆみ

平17
 安 藝 綾 乃
 永 野 みどり
 上野 (山本) 知沙

平18
 安達 (井口) 有紀
 榎 瑞穂子
 砂 田 薫 子
 水 野 健 子
 宮 城 十 子
 竹 村 和 子
 八 家 公 代

平19
 小 島 美穂
 芝 田 健 輔

平21
 上 田 美智子
 山 根 明日香

平22
 荒 井 正 美
 柳 瀬 萌 子

平11博前
 伊 波 早 苗
 岩 切 真砂子

平12博前
 江 見 たか江

平14博前
 八卷 (篠崎) 和子
 高見 (平林) 美保
 松 枝 美智子

平15博前
 植 村 由美子
 奥 野 信 行
 菅 原 よしえ
 西山 (米倉) みどり

平17博前
 白 石 佳 子
 仲 村 直 子

平18博前
 小 林 仁 美

平15博後
 野 澤 美江子

平19博後
 安 藤 幸 子

平21博後
 工 藤 美 子

一般個人
 藤 原 由 子
 宮 芝 智 子

皆様ご協力ありがとうございます。会報の一部に使わせていただきます。

兵庫県立大学看護学部同窓会 けやき会 平成22年度決算書・平成23年度予算案

平成23年5月22日

【決算書】収入の部 (H22.4.1～H23.3.31)

費目	平成22年度決算額	備考
会費		
'96年度 学部卒	¥16,000	2人×¥8,000
'98年度 学部卒	¥10,000	1人×¥10,000
'98年度 修士卒	¥10,000	1人×¥10,000
'00年度 修士卒	¥10,000	1人×¥10,000
'08年度 学部卒	¥10,000	1人×¥10,000
'09年度 学部卒	¥30,000	3人×¥10,000
特別会員	¥10,000	1人×¥10,000
'10年度 学部入	¥920,000	92人×¥10,000
'10年度 修士入	¥90,000	9人×¥10,000
'10年度 博士入	¥40,000	4人×¥10,000
'10年度 学部卒	¥890,000	89人×¥10,000
'10年度 修士卒	¥220,000	22人×¥10,000
'10年度 博士卒	¥20,000	2人×¥10,000
雑収入	¥2,408	利子
学友会からの収入	¥223,000	
前年度繰越金	¥6,062,945	
収入合計	¥8,564,353	

【決算書】支出の部 (H22.4.1～H23.3.31)

費目	平成22年度決算額	備考
I ホームページ作成費	¥21,000	
II 樺まつり 総会・講演会		
案内印刷・郵送	¥264,287	
チラシ印刷	¥24,192	
消耗品	¥45,538	講師弁当・茶菓子、参加者用茶、花台用花、消耗品等
講師謝金・謝礼品	¥19,607	
講師交通費	¥3,100	
III 会報		
会報作成・郵送費	¥150,000	
IV 事務		
消耗品費	¥1,344	
通信費	¥1,160	
V その他		
廃棄物処理(自転車)	¥42,000	
水谷先生定年を祝い感謝する	¥5,000	花束
振込費	¥945	
支出合計	¥578,173	

【予算案】収入の部 (H23.4.1～H24.3.31)

費目	平成23年度予算案	人数	会費
会費			
'96年度 学部卒業	¥272,000	34	8,000
'97年度 学部卒業	¥540,000	54	10,000
'98年度 学部卒業	¥650,000	65	10,000
修士卒業	¥70,000	7	10,000
'99年度 学部卒業	¥230,000	23	10,000
修士卒業	¥100,000	10	10,000
'00年度 学部卒業	¥200,000	20	10,000
修士卒業	¥30,000	3	10,000
'01年度 学部卒業	¥280,000	28	10,000
修士卒業	¥0	0	10,000
'02年度 学部卒業	¥130,000	13	10,000
修士卒業	¥10,000	1	10,000
'03年度 学部卒業	¥130,000	13	10,000
修士卒業	¥20,000	2	10,000
'04年度 学部卒業	¥130,000	13	10,000
修士卒業	¥30,000	3	10,000
博士卒業	¥10,000	1	10,000
'05年度 学部卒業	¥340,000	34	10,000
修士卒業	¥30,000	3	10,000
'06年度 学部卒業	¥200,000	20	10,000
修士卒業	¥50,000	5	10,000
'07年度 学部卒業	¥400,000	40	10,000
修士卒業	¥70,000	7	10,000
博士卒業	¥10,000	1	10,000
'08年度 学部卒業	¥270,000	27	10,000
修士卒業	¥20,000	2	10,000
'09年度 学部卒業	¥770,000	77	10,000
修士卒業	¥50,000	5	10,000
'10年度 学部入学	¥190,000	19	10,000
修士入学	¥30,000	3	10,000
博士入学	¥0	0	10,000
'10年度 学部卒業	¥210,000	21	10,000
修士卒業	¥20,000	2	10,000
博士卒業	¥30,000	3	10,000
'11年度 学部入学	¥1,030,000	103	10,000
修士入学	¥150,000	15	10,000
博士入学	¥40,000	4	10,000
'11年度 学部卒業	¥1,200,000	120	10,000
修士卒業	¥0	0	10,000
博士卒業	¥0	0	10,000
前年度繰越金	¥7,986,180		
収入総計	¥15,928,180		

平成22年度決算残高	収入総計	¥8,564,353
	支出総計	¥578,173
	差引残高総計	¥7,986,180
平成22年度決算報告について監査を行い、以上相違ありません。		
監査	菅野由美子 (印)	
	河田照絵 (印)	

【予算案】支出の部 (H23.4.1～H24.3.31)

費目	平成23年度予算案	備考
I ホームページ年間管理費	¥100,000	
II 樺まつり 総会・講演会		
案内印刷・郵送	¥300,000	
チラシ印刷	¥30,000	
消耗品費	¥50,000	
講師謝金・謝礼品	¥30,000	
講師交通費	¥20,000	
III 会報		
会報作成・郵送費	¥150,000	
IV 事務		
消耗品費	¥10,000	
通信費	¥10,000	
V 予備費	¥1,000,000	
支出総計	¥1,700,000	
収支差額	¥14,228,180	

編集後記

2011年もあと少しとなりました。今年は大きな災害があり、被害に遭われた方々には謹んでお見舞い申し上げます。看護職として働かれる皆さまにおきましては、多くの方面で活躍された方々も多いのではないかと思います。そんな日々のなかでも、大学は相変わらず夏は暑く、冬は寒い日が続いておりますが、キャンパスも卒業すると、学生時代とは違った風景に見えてくると思います。是非、けやき祭やセミナー等に来てみてください。きっといいことがあると思いますよ。

総会報告

平成23年5月22日(日)、兵庫県立大学明石キャンパス304教室にて、第15回総会が開催されました。新役員の承認、平成22年度の収支決算報告と承認、平成23年度予算案報告と承認がなされました。

けやき会 新役員名簿

平成23年度より、藤原由美子さんが新役員となりました。役員一同頑張っておりますので、皆さまどうぞよろしくお願い致します。

- 会長 芝田 健輔
- 副会長 西原 沙織、東 知宏
- 会計 岩 國 亜紀子、福 島 弘子
- 書記 池 原 由布子、鎌 田 奈津
- 庶務 井 上 知美、藤 原 由

けやき会からのご案内